

2022 Wakayama Summer Regatta

レース公示(Notice of Race)

期 間 2022年7月30日(土)～7月31日(日)
場 所 和歌山県和歌山市 和歌山セーリングセンター

共同主催 和歌山県セーリング連盟・日本ウインドサーフィン協会
協 力 NPO法人和歌山セーリングクラブ
協 賛 各社予定

1.規則

本レガッタにはセーリング競技規則(以下「RRS」とする)に定義された規則が適用される。

2.広告

主催団体は各競技艇に対し大会スポンサーの広告を艇体に表示するよう要求する場合がある。

3.競技種目

国体ウインドサーフィングクラス、テクノ 293 クラス A-17(ウインドサーフィンを始めて2年以上の選手)、テクノ 293 クラス U-17,U-15、ワールドマスターズクラス(ウインドサーファークラス、テクノ 293 プラスクラス)

4.資格および参加

- 4.1 2022年度日本セーリング連盟会員の者。
- 4.2 2022年度日本ウインドサーフィン協会会員の者。
- 4.3 所定の参加申込書ファイルをパソコン上にダウンロードして、必要事項を記入・編集のうえ、2022年7月22日(金)までに必着で、Eメールに添付して申し込みをすること。参加料の振込確認をもって参加受付完了とする。
なお、サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付で行うこと。

申込先

和歌山セーリングセンター サマーレガッタ大会事務局
Mail info@wakayama-sailing.org

5.参加料

- 5.1 10,000円/艇 (7/30～7/31のハーバー使用料を含む)
- 5.2 参加料は下記指定口座に指定日までに振り込むこととする。(振込手数料は各自ご負担ください。)

送金口座

紀陽銀行 和歌山市役所支店 普通 390999 和歌山県セーリング連盟

6.レガッタフォーマット

- 6.1 最大8レースを行う。
- 6.2 最終日の15時以降に予告信号を発しない。
- 6.3 1レースの完了で本大会は成立する。

7.日程

7月30日(土)	
08:30～09:20	大会受付
09:20	開会式・艇長会議
10:25	最初のクラスの1日目第1レースの予告信号 引き続きレースを行う。
7月31日(日)	
09:25	最初のクラスの2日目最初のレースの予告信号 引き続きレースを行う。
17:00(予定)	閉会式、表彰式

8.計測

- 8.1 大会期間中に、陸上、海上を問わず計測が行われることがある。
- 8.2 損傷または紛失した装備品の交換はレース委員会の書面による承認がなければ許可されない。
なお、損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のレース委員会によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にレース委員会の書面による承認を得なければならない。[DP]

9.帆走指示書

- 9.1 帆走指示書は7月22日までに大会WEBサイトで公開する。
- 9.2 帆走指示書への質問は7月29日までに大会事務局にメールで行うこと。回答は個別または公示にて行う。

10.開催地

和歌山ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)及び和歌浦湾
添付1図にレース・エリアの場所を示す。

11.コース

ウインドワード・リーワードを予定する。詳細は帆走指示書に示す。

12.得点

- 12.1 (a) 完了したレースが3レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。
(b) 完了したレースが4レース以上の場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。これは付則A2を変更している。

13.安全[DP]

- 13.1 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40を変更している。

14.支援艇

- 14.1 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。
 - a) 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。[DP]
 - b) 支援艇はレース委員会が支給する『ピンク色』旗を掲揚しなければならない。[DP]
 - c) 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。[DP]
 - d) ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、各自で行うこと。
 - e) 支援艇は、ヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険を含む)に加入していなければならない。
- 14.2 海上でレース委員会から支援艇への支援要請は、レース委員会艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。
- 14.3 支援艇の運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は、運行の停止を命じることがある。加えて支援艇が関与する選手に罰則が与えられる場合がある。

15. 賞

各クラス男女を表彰する。ただし、参加艇数により、表彰する艇数を決める。

16.責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照。主催団体等は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

17.大会事務局(参加申込先、大会問い合わせ先)

和歌山セーリングセンター 営業時間 9:00~17:00 火曜日定休日
〒641-0014 和歌山市毛見 1514 番地
E-mail: info@wakayama-sailing.org
(メールでの申し込みと問い合わせに限る。)

大会WEBサイト(和歌山セーリングクラブホームページ内)
<http://www.wakayama-sailing.org>

18.COVID19(新型コロナ)への感染対策について

- 18.1 大会開催時に全国何処かの都道府県に「緊急事態宣言」、もしくは滋賀県内に「まん延防止等重点措置」が出されている場合は開催日より72時間以内にPCR検査もしくは抗原検査を受けておく事が、JWAにより義務付けられている。
PCR検査もしくは抗原検査の陰性証明の提出が必要となり、証明できない場合は本大会への参加が拒否される。
※やむを得ない事情により上記のいずれの検査もできなかった場合には、レジストレーション時に抗原検査を行えるように、一定量の検査キットを準備しておく(有料3000円)。
- 18.2 コロナ禍での大会開催ということから、参加選手を含む関係者全員に安全にウインドサーフィンを行える様々な仕組みを考えることを求める。大会関係者は、日本スポーツ協会、日本セーリング連盟及び日本ウインドサーフィン協会の感染対策及び以下の本項を遵守し、安全に配慮して競技を行うこととする。
- 18.3 以下の項目に一つでも該当する場合、本大会は大会前、大会期間中に関わらず中止とすることがある。
- ・行政機関より中止勧告が出された。
 - ・大会開催中に COVID-19 と思われる症状を訴える選手が見つかった。
 - ・選手及び大会役員が、COVID-19 感染者の濃厚接触者であることが確認された。
 - ・本大会の開催により、クラスターが発生し得る状況となった。
 - ・その他、社会的に開催が適切で無いと判断されうる状況となった。
- 18.4 本大会期間中の選手の健康管理及び安全管理は、大会実行委員会が各種情報を収集した上で、セーリング連盟のガイドラインに従いすべての決定を行う。また、大会スタッフは、感染対策の履行及び諸問題の発生について、常に確認する。
- 18.5 本大会に参加するすべての選手は、本レース公示で要求される内容のすべてを遵守することとし、大会実行委員会及び日本ウインドサーフィン協会は、これに違反した選手に対して、下記に定めるペナルティを課す。
- ・本大会成績の抹消
 - ・本大会への出場停止
 - ・JWA関係大会への今後の出場停止
 - ・その他、大会実行委員会及び日本ウインドサーフィン協会によって決められる処置
- 18.6 陸上ではソーシャルディスタンスを保ち、必ずマスクを着用することとする。海上への出艇時直前までマスクを着用し、浜へ帰着したら直ぐにマスクを着用しなければならない。なお、開催地の宿泊先、各種店舗、街中等の大会会場以外でも、マスクの着用を義務付ける。
- 18.7 大会期間中は、大会実行委員会による検温を実施する。発熱症状のある選手は、レースへの出場を認めない。またPCR検査や抗原検査を実施することもある。
- 18.8 大会終了後から2週間以内にCOVID-19感染症を発症した場合は、速やかに実行委員会にその事実と濃厚接触者の有無等について報告することとする。
- 18.9 従来の掲示板とフラッグによる通告に併せて、出艇帰着申告や掲示等にLINE CHATの使用を予定する。この場合、チャット参加用のQRコードを大会本部に貼り出す。

添付1図「レース・エリア」

